

E. 救いの確信

クリスチャンとして歩んでゆくときに、2 つの大事な「確信すべきこと」があります。第一に、前章までに学んだ神の存在や、イエスがキリストであることなど、救われるために必要ないくつかの事実を「間違いない」と確信することです（事実の確信）。次に、聖書が『「イエスがキリストである」と信じ告白した者は必ず救われる」と約束していますので、心から信じ告白した人は、「自分が救われている」ことについても確信することができます（救いの確信）。

1. 心から信じ告白した者は必ず救われる

まことに、まことに、あなたがたに言います。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わされた方を信じる者*は、_____を持ち、_____に会うことがなく、_____から_____に移っています。（ヨハネ 5:24）

（※）「わたしのことばを聞いて、わたしを遣わされた方を信じる」というのは、当時の独特の言い回しで、「わたしのことばを聞いて、わたしがその方（父なる神）から遣わされて来た者である（＝キリストである）ということを感じる」という意味です。同じ内容が書かれた以下の他の箇所を確認しましょう。

(1) イエスがキリストであると信じる者はみな、神から生まれたのです。（1 ヨハネ 5:1）

(2) だれでも、イエスが神の御子であると告白するなら、神はその人のうちにとどまり、その人も神のうちにとどまっています。（1 ヨハネ 4:15）

(3) なぜなら、もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせたと思えば、あなたは救われるからです。（ローマ 10:9）

2. 救いの確信を持つことは神の御心である

神の御子の名を信じているあなたがたに、これらのことを書いたのは、永遠のいのちを持っていることを、あなたがたに_____ためです。（1 ヨハネ 5:13）

3. 救いは行いにはよらない

この_____のゆえに、あなたがたは_____によって救われたのです。それはあなたがたから出たことではなく、神の賜物です。_____によるものではありません。だれも誇ることをないためです。（エペソ 2:8～9）

次の祈りを心からできたならば、すべての罪の赦しと、すでに永遠の命が生まれていることと、最後の裁きに会わないことが、聖書に保証されていますので、安心して救いの確信をもちましょう。

『イエス様、あなたは天地を創造された神であられるのに、私の罪を赦すために、旧約聖書で約束しておられた通りに、人として生まれてくださり、私とともに十字架で死んでくださいました。私はこのことを信じています。イエス様、あなたは墓に葬られましたが、約束しておられた通り、私とともに3日目に復活されました。私はこのことを信じています。私のために、これほど大きな犠牲をはらってくださったことを感謝します。アーメン。』